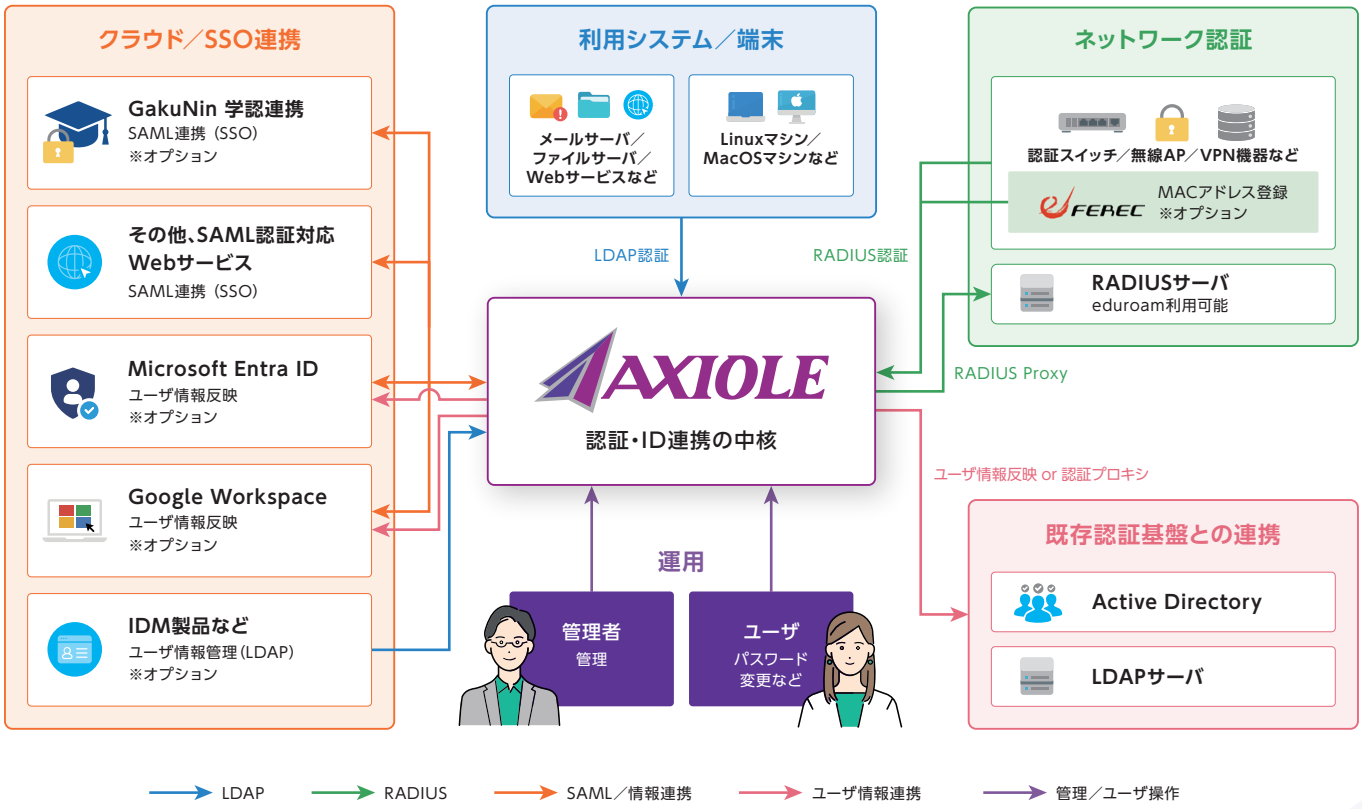
AXIOLE for KVM

AXIOLEで認証連携を一元化



KVM仮想環境に最適化

KVM環境に準拠したAXIOLE仮想版製品です。

他プラットフォーム版AXIOLEからの移行も容易

VMware版・Nutanix AHV版など、AXIOLEの他プラットフォーム版製品を導入済みの環境からの移行も容易です。

各種連携オプション機能も充実

Shibboleth（SAML）対応のIdPやGoogle Workspace連携、Microsoft Azure連携などのオプションも提供しています。

冗長機能はKVMのHA機能を活用

KVM仮想基盤のHA機能に準拠して実装されています。

パスキー機能・多要素認証機能（MFA）を標準実装

エンドユーザ向けのWebUI（管理画面）へのログインや、IdP機能でのシングルサインオンにパスキーが利用可能です。
また、ワンタイムパスワードやメール通知等によるMFA機能が利用可能です。

IdP専用モデルも提供

既存の認証基盤を活用しながら、IdP機能をKVM上に構築することが可能です。

AXIOLE for KVM

■ 仕様

		仮想アプライアンスモデル	IdP専用モデル
型番		AXSiK1-nnnnn（nnnnnはライセンス数）	AXSiK1-E1
ユーザアカウント	アカウント数	200～40000 (50単位)	—
	グループ最大登録数	200	—
	POSIXグループ最大登録数	1000	—
認証ポリシー	ルール最大登録数	1000	—
	ロケーション最大登録数	100	—
	スケジュールグループ最大登録数	100	—
MACアドレス数		10件/ユーザ（ユーザに関連づける場合）、全体で最大40000件	—
認証プロトコル	LDAP	○（LDAP/LDAPS v2,v3）	—
	RADIUS	○（アカウンティング含む）	—
	IEEE802.1X	○（EAP-TLS、EAP-TTLS、PEAP、EAP-MD5）	—
外部認証サーバ連携	LDAP認証 プロキシ	○（最大登録数10）	—
	LDAP ユーザ反映	○（最大登録数50）	—
	AD認証 プロキシ	○（最大登録数10）	—
	AD ユーザ反映	○（最大登録数50）	—
	RADIUS プロキシ	○（最大登録数50、DEFAULTレルムの設定を除く）	
設定・管理インタフェース		Web(HTTP/HTTPS)	
ログ管理		syslogサーバへの転送（一部除く）/WebUIでの閲覧およびWebUIからのダウンロード	
HA構成		KVM仮想基盤のHAを利用	
オプション機能	LDAP スキーマ	標準装備	
	Google Apps連携	対応（年度更新が必要です）	—
	AXIOLE for Azure連携	対応（年度更新が必要です）	—
	IdP	対応	標準装備
	MACアドレス	対応	—
仮想化基盤・ハイパーバイザー		KVM（AlmaLinux 10、Proxmox 9）	
CPU		2コア以上	
メモリ		4～8GB	
HDD		128GB以上	
ネットワークインタフェース		4個（用途固定）	
備考		LDAPスキーマオプション（AXM100）を標準装備	IdPオプション（AXI100）とのパッケージ販売

製品ホームページ　https://www.axiole.jp/

このカタログは2026年7月現在のものです。製品の仕様等は予告なく変更することがあります。
AXIOLE、eFERECは、株式会社ネットスプリングの登録商標です。その他記載の各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

開発元

NetSpring

株式会社ネットスプリング

https://www.netspring.co.jp/ お問い合わせ先 E-mail:info@netspring.co.jp
本社 〒108-0073 東京都港区三田3-9-7 三田 JEBL 8F
TEL.03-5440-7337

お問い合わせ

Copyright©NetSpring, Inc. 2026 2026.07